

(様式第1号)

市民との意見交換会実施報告書

開催日時	令和6年2月15日(木) 14時00分～16時00分			開催場所	議会委員会室	
出席議員	氏名	役割	氏名	役割	氏名	役割
	本間 正芳	総括	草島 進一	座長	加藤 鑛一	受付・会場
	本間 信一	記録・報告	黒井 浩之	写真・録音	五十嵐一彦	司会
	渋谷 耕一	会場				
欠席議員	なし					
テーマ	朝日・温海地域の課題把握と地域活性化策について					
団体等の名称	朝日地域自治振興会役員等(会長等5人)、温海地域自治会長会役員等(会長等5人)				参加者数	10人
実施内容 (概要等)	①日頃の取り組みや活動内容、課題について意見交換を行った ②持続可能な地域コミュニティのあり方、地域活性化策について意見交換を行った ③人口減少問題について意見交換を行った ④夢・未来について意見交換を行った					

※主な意見及びその回答は、別紙のとおり

令和6年9月2日

鶴岡市議会議長 様

総務班 代表者 本間 正芳

【日頃の取り組みや活動内容、課題、持続可能な地域コミュニティのあり方、地域活性化策、人口減少問題について】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・自治会活動について、若い人を雇用するには給与が安いので出来ない。役員は年配者なので、活発な事業展開が難しい。 ・人口減少が続いているのでお祭りも1か所にまとめてと考えている。地域ビジョンを計画したものの人材不足でなかなか進まない。 ・以前は注連寺、大日坊と観光客で賑わったが今は閑散としている。「小さな拠点づくり」を立ち上げ、地域デザインを描いて計画を立てているがコロナ禍で事業が停滞した。今後、人集めが課題だ。 ・戸数が減ってきて1桁台の集落もある。それらを集約し持続可能な地域コミュニティを作っていきたい。 ・若い人は住居を市街地に建てるので、人口がますます減っていく。 ・地域の伝統文化の継承が課題だ。若い人がいない。越沢の三角そばは内閣総理大臣表彰を受けたが、農業をする人がいないので栽培を維持できるか心配だ。 ・自治会の継承が難しい。マラソン大会が中止になったので若い人・子どもに影響が出ている。 ・消防団のなり手がいないので、2班が1班に縮小となり、災害が起きた時大変心配だ。 ・地域コミュニティについては、コロナ禍によって夏祭りが中止になるなどのダメージを受けている。子育て世代の各種行事への参加を希望する。 ・福栄地区ではボランティア団体を組織し、集落の雪下ろしを手伝っている。他の地域にも広めたい。 	○			<p>集落内の役員や消防団も含めて、人材不足や高齢化を確認しながら外部人材（周辺や支庁職員等）の活用も考えていくことが必要である。</p> <p>地域の伝統芸能の継承は、地域の一体感の醸成と活力の源であると考えます。</p>	

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

【日頃の取り組みや活動内容、課題、持続可能な地域コミュニティのあり方、地域活性化策、人口減少問題について】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・旧五十川小学校が避難場所なのに暖房器具が設置されていない。 ・人口減少について、そこに住む人たちが明るく過ごすことが大事であり、保育園留学は関係人口の増大に貢献している。 ・ある行事で防災リュックを販売したが売れ行きが悪いため、市からも支援してほしい。 ・験潮場の潮位計が故障していて津波情報が伝わらず、大変不安な思いをしたので、地元住民への説明が必要だと思った。 ・様々な体験者を受け入れている。市として修学旅行を誘致してほしい。 ・高校生のときは地元に戻ってきたいと言っているが、大学生になると就職先がない等で帰って来れない状況である。人口減少の大きな要因ではないだろうか。 			○		<p>コミュニティの最小単位は集落組織であるが、集落個々の見直しとともに、催事ごとに隣接集落等と連携した事業実施が将来的に必要なではないかと考える。また、人口減少の実際を予想し、対策を根本から見直すことが大切である。</p>

【地域以外の方々との関わりはどうなっているか（観光面で）】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・月山から湯殿山行きのバスがなくなったため、賑わいがなくなってきている。注連寺・大日坊・仙人沢の古道歩きを継続したい。 			○		<p>地域の観光資源を掘り起こす事が必要と考える。官民間問わずに観光の生き残りを進めていければと考える。</p>

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

【人を集めるために、どんな工夫をしているか】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・少人数でも集まってお酒を飲んで語り合うことは大事だと考える。 ・若い人のアイデアを取り入れて事業を実施したところ、随分、参加者が集まってくれた。 ・スマホの使い方の講習会を開いたら多くの人が参加した。 ・お祭りを再構築することで、地域コミュニティが活発になった。 		○			<p>多くの人を巻き込んだ活動は必要である。行政主導でもいいので機会を多くしたいと考える。</p>

【地域コミュニティをどう構築しているか】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・集会等に参加しなければ楽だが、それではつまらないので人が集まって賑わいをつくっている。 		○			
<ul style="list-style-type: none"> ・過疎地では、行政からの支援がなければ自分たちだけで生活するには限界があり、一冬に3～4回の雪下ろしをすることは大変な作業である。若者は村を離れてしまう傾向にもあり、市から半額くらいの支援がほしい。 			○		<p>地道な地域住民の活動を支えるために行政の支援は必要だと考える。</p>

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

【祭りや伝統行事の維持などの課題は】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・無形民俗文化財の小国弓まつりは、コロナに関連して6年間中止している。難しい作法のあるお祭りなので、復活させるには1年前から準備が必要であり、100人ほどの人手が必要だが、60～70人で復活させたいと考えており、やり方を変えて前に進めたい。 ・巖島神社のお祭りがテレビで放映される予定であるため、神輿を担ぐ人たちが東京・埼玉等から帰ってくる。大々的にやって地域を盛り上げたい。 ・ある地区では人口が減ってきているため、神輿を軽くしてお祭りを継続している。 		○			
<ul style="list-style-type: none"> ・何百年も続けてきた伝統形式が変わっていく様子を保存することを考えていくと、27集落のお祭りを映像に撮って残すことも大切である。人口減少の中、テクノロジーで解決していく方法もあるのではないか。 ・伝統行事を保存、継承するには多くの労力が欠かせないこともあり、市からも支援してほしい。 			○		<p>地域を維持し、盛り上げるためには、祭りを一つのツールとして考えていきたい。</p> <p>また、将来のためにも、DXを活用して残していくことも必要だと考える。</p>

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

【デジタル化をどう活用しているか】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・集落の中でLINEを使うことで情報共有が進み、人の集まりが良くなっている。 ・雪下ろしの際、LINEで日程等の情報を伝える事で、ボランティアの人たちの集まりが良くなってきた。 		○			年齢に関係なく、デジタル化していくことは必要と考える。

【食文化の振興は】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・笹巻などはどこで買えるのか、どこで食べられるのか情報を発信すべきである。伝統的な食品を残していくにはつくる人たちにそれなりの実入りが必要であり、しっかり支えていかなければならない。 ・笹巻作りもとち餅作りも、商品になるまでには笹の葉採り、栃の実拾い、それをあく抜きする灰を作ったりと、1年がかりの仕事なので、後継者の確保に苦労している。伝統を守るために日帰り温泉「ぼんぼ」では講習会の開催を計画している。 ・赤かぶは、令和5年の高温被害で収穫量が半分になってしまった。焼き畑農法なので多くの人手が必要であり、人手確保に良い方法がないか検討している。 			○		伝統的な食品は、作り手の不足や商品化までの手間の問題があるが、残す努力は行政や民間も一緒になって取り組んでいくことが必要と考える。

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

【夢・未来をどう描いているか】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
<ul style="list-style-type: none"> ・先祖が今の土地に集落を築いたのは比較的住みやすいからだと思うので、自然と共に暮らしていきたい。 ・住んでいる人が地域間格差を感じないような地域でありたい。 ・関東周辺の大学生を呼び込み、温海の良い所を広めていただくよう活動したい。 		○			
<ul style="list-style-type: none"> ・保育園留学も関係人口増大に貢献しており、地域が元気になる施策なので継続してほしい。 ・新しい道の駅あつみの完成を心待ちにしており、大きく期待している。 ・中学生の部活動の地域移行について、受け入れ先が少ないため、苦勞している。子ども達に夢を与えられるよう何か良い手立てがあればと思っている。 ・中山間地域は様々な課題を抱えている。中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用して、地域づくりをしていきたい。 ・人口減少が最大の課題であり、地域コミュニティをどれだけ残せるか心配である。 ・里親制度を活用して都市部と交流するなど、山村留学にも着手していきたい。 ・南海トラフ地震の受皿は日本海側の可能性が高いと思うので、日本全体で日本海側に目を向けてほしい。 			○		<p>人口減少は日本中どこでも問題だが日本のどこかから連れてくれば良いというような問題ではない。誰も考えないような新たな展開を市民・市当局・議会でも進めていくような考えがないと中山間地域は残れないと考える。</p>

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの

【その他】

参加者の主な意見等	議員の主な発言等	分類			
		I	II	III	各班からのコメント（自由記載）
・旧県立温海高校、旧福栄小学校、旧福栄中学校、旧山戸小学校の校舎がそのまま残っており、年々老朽化が進んでみすぼらしい。解体するか、何かに利用するか検討を願いたい。			○		

分類Ⅰ：今後の市議会活動の参考意見とするもの 分類Ⅱ：執行機関に伝えるもの 分類Ⅲ：議会（常任委員会、特別委員会、議会運営委員会、広報広聴委員会等）として調査・検討を行い、その対応を明らかにするもの